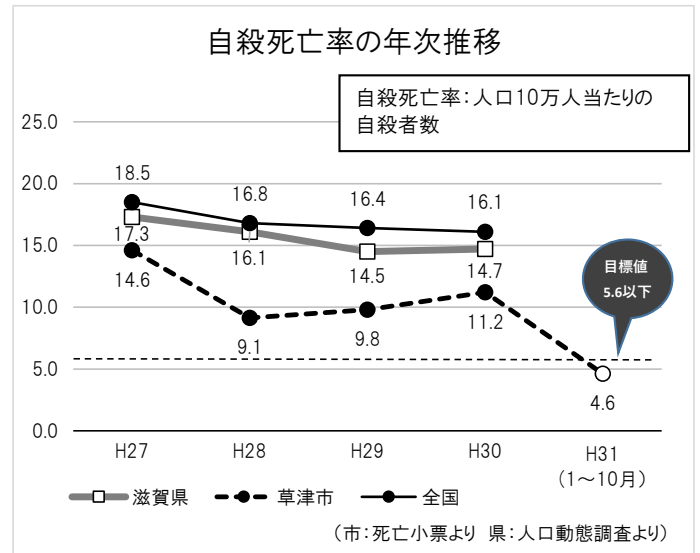
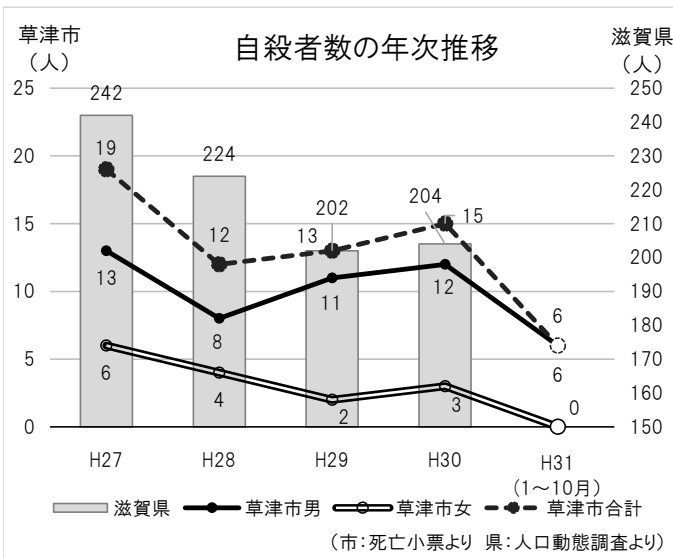
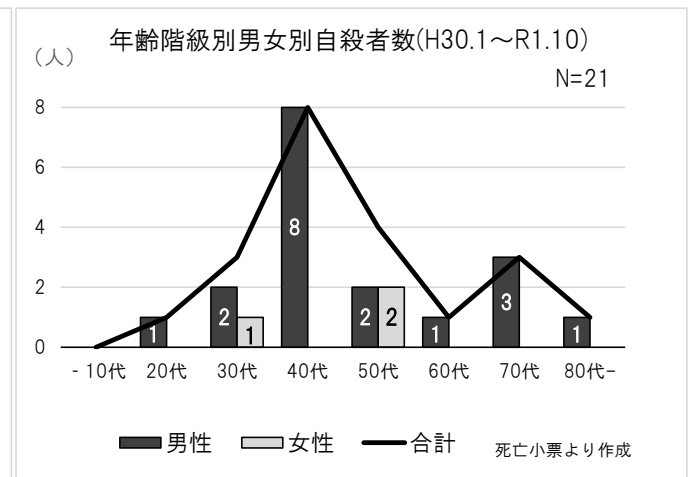
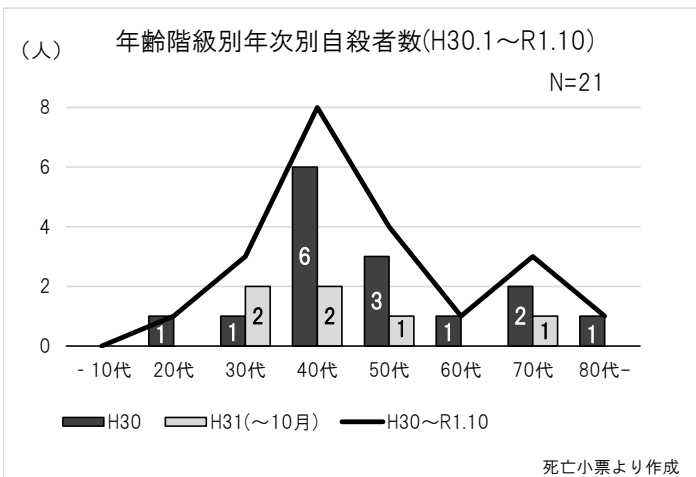


2. 自殺の状況と自殺未遂者支援の実態から

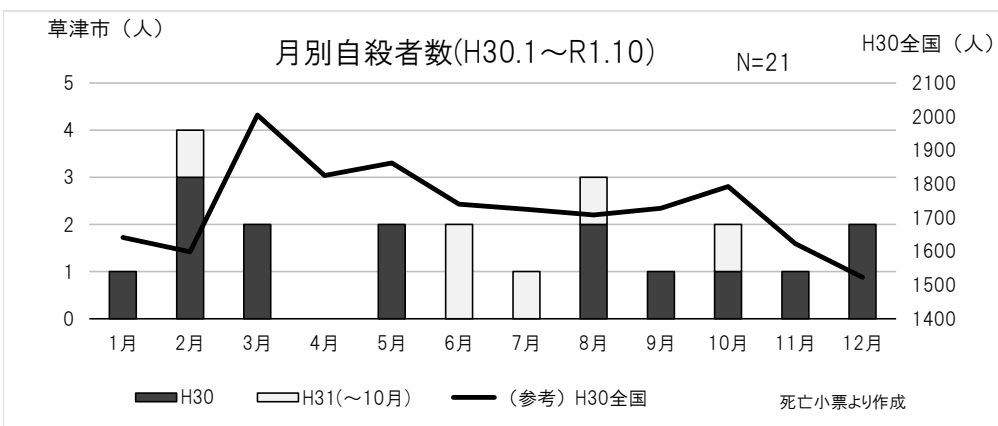
(1) 草津市の自殺の状況



H28に大きく減少した後、やや増加傾向だったが、今年10月までの時点で6人と低い値になっている。特に女性は減少傾向。自殺死亡率については、目標値の5.6以下に対して、10月までの時点で4.6と、低い値となっている。



H30は40代男性・50代が多かった。約2年分を合わせると、30~50代に大きな山があり、70代に小さな山があるように見える。特に40代男性は突出して多い。

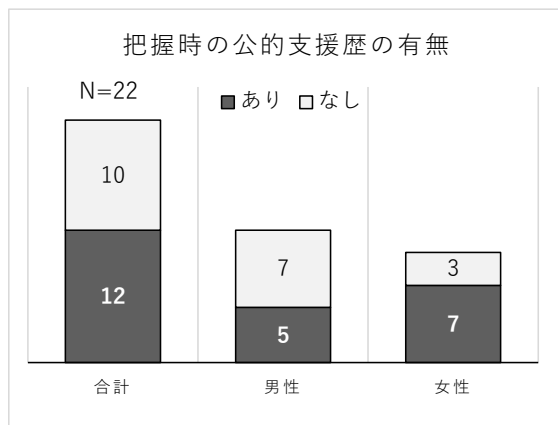
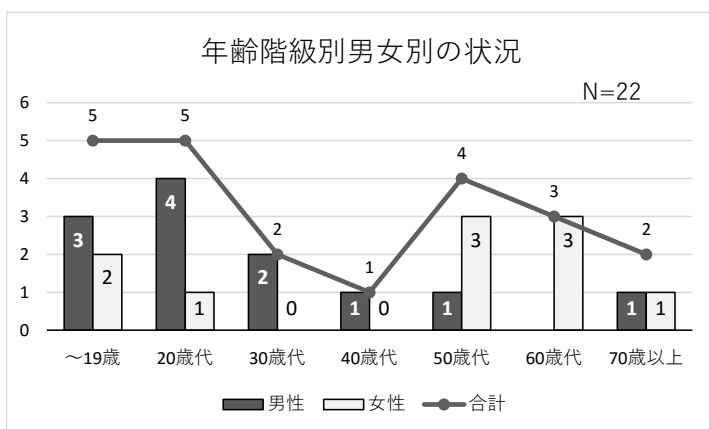


H30全国では3~5月、10月ごろに山があるが、草津市では2月が最も多く、4月はない。季節的な傾向はみられない。

(参考)H30全国については、警察庁「自殺統計」より

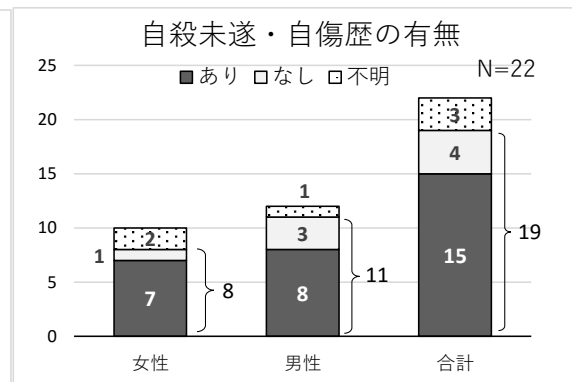
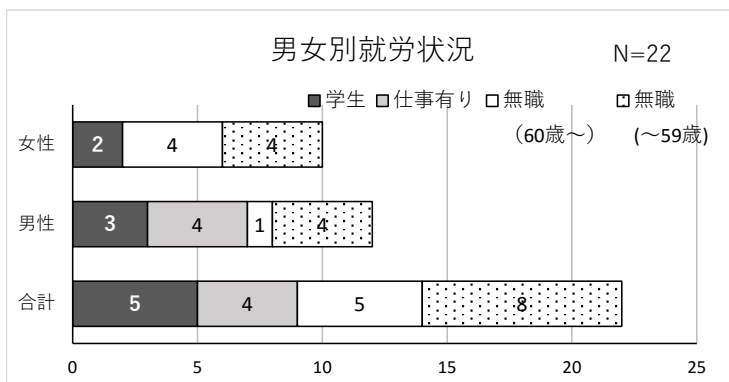
(2) 自殺未遂者支援から把握した未遂者の状況(H30.4～R1.11)

	H30	H31 (～11月)	合計	(再掲) 湖南いのちサポート 相談事業ケース
男性	6	6	12	7
女性	8	2	10	5
合計	14	8	22	12



男性は20代が最も多く、女性は50～60代に次いで19歳以下が多かった。全体に40代が少なかった。

約半数はこれまでに公的支援につながっておらず、男性は6割近くが支援歴がなかった。



半数以上が無職者で、60歳未満の無職者が最も多かった。男性では、若い無職者と仕事をしている人が多く、女性では、昨年と今年は仕事をしている人はいなかった。職場や学校に所属している人が、全体の4割いた。

自殺未遂歴や自傷歴が把握できた人のうち、7割以上の人が自殺や自傷を繰り返していた。女性ではほとんどが再企図だった。男性では7割以上が再企図だった。

